

## 理科2年「静電気と放電」 N.G教諭

本時は電流学習の導入であることから、興味・関心を高めつつ、生徒の疑問を生かして課題を設定するよう配慮するとともに、単元全体の見通しを持たせる工夫を行っていた。(主体的に学習に取り組む態度)

### 【授業の流れ】

#### (1) 教師による静電気の実験

うまくいかないことが、逆に生徒の関心を高めるのに効果があった。



#### (2) 身近な静電気を体験する。



終始、授業の雰囲気が明るく、どのグループも楽しそうに実験に取り組んでいた。

#### (3) 実験の感想から課題設定へと向かう。

(問い) どんなことに不思議さを感じたか。

- ・なぜ糸が浮くのか。
- ・どんなときに浮くのか。
- ・どんなときにくっつくのか。など



ロイノートが効果的。友達の考えを共有するとともに、まとめ方の参考にもなっていた。

#### (4) 中心課題を提示

「静電気でくっつくときと離れるときは、どんなときだろうか。」

※生徒の疑問から課題が設定されることで、本時の課題が自分事となる。



#### (5) 実験



生徒のつぶやき(磁石みたいだ・どちらがプラスなんだろう など)を上手に生かしながら、授業が進んでいき、同時に今後の授業の予告、単元構成の見通しにもつながっていた。

#### (6) 考察

まず実験結果を自分の言葉(追っかけてくる・逃げていく など)でまとめさせ、その後、概念的知識へと導いていくステップ。生徒の表現を一段階高めるためのやりとりがうまくいった。